

登録コード	TSG42600		開講年度	2026			
授業科目	強誘電体材料演習 II					担当教員	番場 教子
英文授業名	Exercise in Ferroelectric Materials II					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	電気電子工学分野2年生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				⇔	強誘電体材料を取り巻く社会のニーズや現在の非鉛系強誘電体材料開発状況を理解し、必要とされる特性を有する新たな材料を実現するための情報を自分の研究に活用することができるようになる。	
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				⇔	研究に関係する強誘電体材料の英語論文を自ら検索・収集し、結果と照らし合わせて考察し、プレゼンテーションを行うことができるようになる。	
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	多くの研究論文と己の研究結果と照らし合わせて、結果及び考察の妥当性を説明し、更には必要な実験を提案できるようになる。	
(2)授業の概要	強誘電体材料演習 I と同様にゼミナール形式で機能デバイスに用いられる強誘電体材料に関する演習を実施する。						
(3)授業計画	第 1 回：ガイダンス、強誘電体材料演習 I で扱った内容の確認と復習 第 2 回：強誘電体に関する文献調査演習 第 3～8 回：各自が選んだ文献に関して情報収集、他者との議論 第 9、1 0 回：最終プレゼンテーション・討論						
(4)成績評価の方法	演習への参加態度や発表内容、議論の様子から理解度および英語論文の読解力を判断し、9 0 点以上を秀、8 0 点以上 9 0 点未満を優、7 0 点以上 8 0 点未満を良、6 0 点以上 7 0 点未満を可とする。						
(5)成績評価の基準	(4)成績評価の方法に基づき総合的に評価し、90点以上であれば卓越している、90点未満80点以上でかなり上にある、80点未満70点以上でやや上にある、70点未満60点以上で合格水準であると判断する。						
(6)事前事後学習の内容	事前学習では課した英語論文に目を通し、事後は論文の内容を理解した上で自身の修士研究の内容に照らし合わせ、活用する。						
(7)履修上の注意	講義日時・場所は随時メールにて連絡するので、メールを確認してください。						
(8)質問,相談への対応	E3-4階406号室にて、随時受け付ける。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						